

# 世界遺産登録に向けて

## 鶴子銀山(6)横相(坑道掘り)の導入

文禄3(1594)年冬、豊臣秀吉の五奉行筆頭浅野弾正長吉(のちの長政)は、上洛した上杉景勝の重臣直江兼続に、「よく申し入れ候。越後・佐渡両国の内、銀子・鉛出し申すべき由の者見立てに相越し候間、その方よりも奉行仰せ付けらるべく…」『越佐史料稿本』と、鉱脈探査をする見立人を派遣するので、佐渡からも人を出すようにと命じます。

翌文禄4年正月、浅野弾正から石田三成へ、「越後・佐渡両国金山の儀、中納言殿(上杉景勝)へ仰せ付けられ、このごとく御朱印なされ候。時節柄にて候はば、急ぎ金子御掘らせなさるべく候」(「舟崎文庫」と、金銀の増産を命じた旨の報告がなされています)。

「時節柄にて」とは、文禄元年の朝鮮出兵が一旦休戦になったものの、その後の交渉が暗礁に乗り上げていたため、再出兵に必要な軍資金調達が急がれていたことを指しているのでしょう。

これを受けて直ちに兼続は、家臣の立岩(山庄とも)喜兵衛・志駄(須田とも)修理亮を「金山代官」に任命し、「二、金山に売られる米や商売物はこ

れまで通り十分の一の役銀をかける。

一、掘手共がわがままを申すようであれば成敗すること。一、掘手でその仕法に詳しく才覚がある者を案内人に申しつけよ。一、金山諸役は、1カ月単位に集計して、月々日記を出すこと」(『越佐史料稿本』)などを命じます。

この年5月、石見銀山から見立人として、石州忠左衛門、弟の忠四郎、石田忠兵衛が佐渡へ派遣されてきます。彼らは、既に石見銀山で導入されていた「横相」(坑道掘り)の専門家であつた。だちに鶴子の「本口間歩」などの坑道開削を始めました。



坑道掘りでほられた「大滝間歩」

### ◆市役所世界遺産推進課

(金井就業改善センター内)

☎ 63-5136

## 地域おこし協力隊の活動を紹介します



空き家対策・移住支援担当 熊野礼美さん

平成26年11月から佐渡の空き家をホームページで紹介し、現地を案内する業務と、佐渡を移住先にと考えている移住希望者の対応と、主に二本立てで活動しています。

着任当初、空き家情報のホームページは、まだまだ改良の余地があり、私が佐渡に来る前に「こうだったらもっと見やすいのにな」と思っていたことを提案し、紆余曲折しながらも「移住定住特設サイト」を作りました。

現在住んでいる私の家は元々空き家でした。近所の方々は、「ガスボンベが入ったようだよ」「人が入るようだよ」と、今まで暗闇だった家に明かりが灯ることが楽しみであつたようです。そういう経験から「隊員の空き家レポ」を始めました。これはインターネットでただ空き家を紹介するだけでなく、庭に咲く花、見える景色、家主さんとの何気ない

会話、物件情報以外に伝えたい魅力を掲載しています。特に、五感に訴えたり、家の持つストーリー性だったり。おかげさまで、去年は18件が成約し、そのうち9件は島外からの方です。

もう一つの移住支援では、都内の移住セミナーや移住モニターツアーで佐渡暮らしのかけらを感じてもらえるような企画を提案しました。参加者からイベント終了後にお礼の手紙をもらったり、相談を続けたり移住に向けて前向きな良い感触を得ています。

「空き家情報に登録したい」という方の中には「売りたい」という希望が多いですが、移住希望者は「借りたい」方がほとんどで、いきなり家を買う人とのギャップがあります。また、空き家物件の情報が少なく、利用希望者がいても情報提供ができないことが課題です。

課題を少しでも解決すること、それを残りの任期で果たしていきたいです。

### ◆市役所地域振興課 地域振興係

☎ 63-4152